

報道配布資料

平成22年(2010年)8月5日

所属名	所属長名	部局長名	担当者職・氏名	連絡先
山口県立大学	学長 えさと けんすけ 江里 健輔	三大学連携推進オフィス みしま まさひで 三島 正英	三大学連携推進オフィス よしおか かずし 吉岡 一志	三大学連携推進オフィス 083-928-5466
発表内容の 関係地域	①全県、岩国、柳井、周南、②山口、防府、宇部、③山陽小野田、下関、長門、 萩、首都圏			

1 件名

平成22年度 高校生対象 夏季公開講座の開催について

- ・山口東京理科大学の教員による講義など大学間連携を活用した取組み
- ・全世界の高校生に向け Ustream により講義を配信

2 趣旨

高校生対象夏季公開講座では高校生に大学で学ぶことの意義や今後の進路について考えを深めてもらうことを目的とし、現代社会における課題や健康の問題にかかわる3つのコースを準備しました(別添「受講案内」)。今年度の夏季公開講座は以下の2点で、新しい取組みとなっています。

◇平成21年度に採択された文部科学省選定取組である「個性的小規模大学連携による地域活性型 e-quality 仮想的大学の創生」事業の一環として、山口東京理科大学の教員による南極探検についての講演や、連携大学である山口東京理科大学及び山口学芸大学の資料展示コーナーを設けるなど、大学間の連携を活かしたユニークで魅力的な取組みとなっています。

◇別添「受講案内」に記載の三大学連携プログラム1、国際文化コースの講義Ⅱについて Ustream を通して配信を予定しています。三大学連携専用ホームページ (<http://eq-u.jp>) から視聴できます。

3 日時

平成22年 8月 9日(月) 10:00~16:00
10日(火) 10:00~16:00

4 場所

山口県立大学 6号館2階 F204教室(開講式・三大学連携プログラム1・2)
本館3階 A32(国際文化コース)
4号館1階 D14(社会福祉コース), D15(看護栄養コース)

5 概要

別添「受講案内」及び以下のホームページを参照のこと

<http://eq-u.jp/>

6 問合せ

三大学連携推進オフィス 083-928-5466

平成 22 年度 山口県立大学 高校生対象

夏季公開講座 受講案内



8月9日(月) / 10日(火)

10:00 ~ 16:00

平成 21 年度採択 大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム 文部科学省選定取組

「個性的小規模大学連携による地域活性型 e-quality 仮想的大学の創生」

送付先：FAX 083-928-5466

郵送の場合は 〒753-8502 山口市桜畠3-2-1
山口県立大学 三大学連携推進オフィス

「山口県立大学 夏季公開講座」受講申込書

平成22年 月 日

山口県立大学

学長 江里健輔 様

私は下記により、この講座を受講したいので、保護者同意の上申し込みます。

_____ 高等学校 ____年 ____組

氏名 _____

保護者氏名 _____ (印)

記

(ふりがな) 氏 名	
住 所	〒
連絡方法 (自宅の電話など)	電話番号
	FAX
※緊急連絡先 (保護者への連絡方法)	電話番号
	職場名など ()
申し込みコース (どちらかに○を つけてください)	() 1. 国際文化コース
	() 2. 社会福祉コース
	() 3. 看護栄養コース
昼 食 (希望するものに○を つけてください)	() 9日(月)の昼食を希望する (400円)
	() 10日(火)の昼食を希望する(400円)

※緊急連絡先が、自宅と異なる場合は、必ずご記入下さい。

※受講申込書に記載された個人情報については、本講座に関する運営等の目的以外には
使用しません。

※7月28日(水)までに申し込んで下さい。

◆この講座のねらい

大学授業を体験してみませんか？この夏季公開講座では、きっと大学で学ぶことの意義や今後の進路についてもう一歩考えを深めていただけたらと思います。現代社会における課題や健康の問題について3コースを準備しています。

また昨年度より、山口東京理科大学、山口学芸大学と山口県立大学は、連携の取組（文部科学省「大学教育充実のための戦略的大学連携プログラム」による取組）を始めています。その一環として、南極探検談も山口東京理科大学の先生に語っていただきます。

様々な可能性を求めて挑戦しようとしているみなさんの受講を、講師一同お待ちしております。

◆対象

県内高等学校の2年生または3年生で、この講座の全日程の受講を希望する者 各コース60名

(定員になり次第締め切りますので、お早目にお申し込みください。)

◆受講方法 受講料は、無料です。 全日程受講者には、修了証書を授与します。

- ◆申込方法 ① ホームページ 山口県立大学HP (<http://eq-u.jp/form/>)、または携帯電話（表紙のQRコード）からアクセスし、必要事項を明記の上、申し込んで下さい。
- ② FAX または郵送 受講申込書（左ページ）に必要事項を記入して、7月28日（水）までに、郵送またはFAXにてお申込下さい。

申込先 〒753-8502 山口市桜島3-2-1
山口県立大学 三大学連携推進オフィス TEL&FAX 083-928-5466

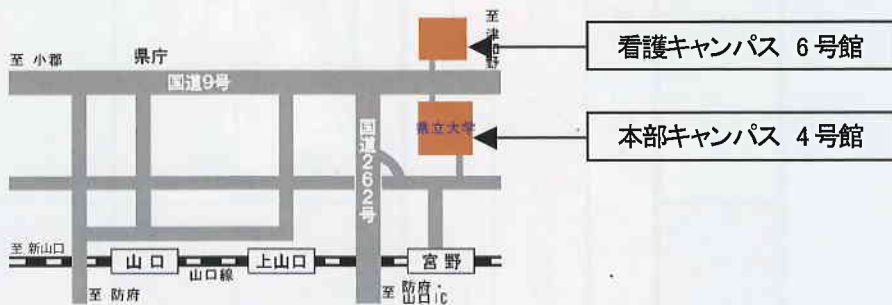
◆受講通知 受講通知は、くわしい受講方法も合わせて講座開始の1週間前頃に各自にお知らせします。

◆会場 山口県立大学本館3階A32教室、4号館1階D14・D15教室、6号館2階F204教室

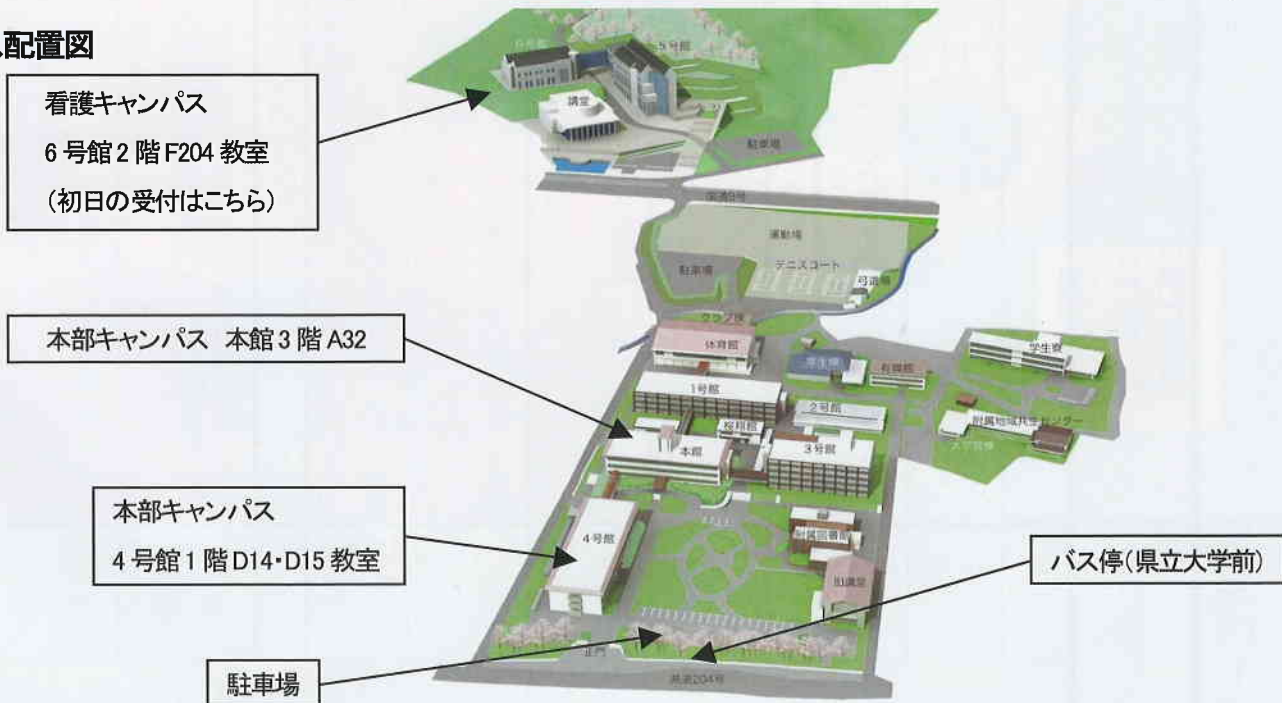
◆昼食 昼食は食堂のランチ（400円）を利用することができます。事前に申し込んで下さい。

受付で食券を販売します。

山口県立大学周辺地図



キャンパス配置図



コース案内

◇プログラム	国際文化コース A32教室 柔軟なところと確かな方法	社会福祉コース D14教室 「障がい」があっても「障がい」のない社会へ向けて 一障がいの者の視点から私たちの社会を再点検しよう—	看護栄養コース D15教室 健康なからだづくりについて考えよう
10:00	開講式 (看護キャンパス 6号館 F204教室)		
10:10	三大学連携プログラム1 「目的」と「誇り」を持つとう」山口県立大学 学長 江里健輔		
11:10	三大学連携プログラム2 「南極から見えてくるもの—南極越冬隊になって—」山口東京理科大学助教 浅野 比		
11:20	キャンパス内の移動、昼食・交流 (食堂・各教室)、「なんでも相談コーナー」 (桜翔館)、注：D15教室では食事をとることができません。		
12:20			
13:40	講義Ⅰ「日本人の異文化適応力」 国際文化学科准教授 カイルソ・イミン	講義Ⅰ「障がい者福祉に取り組んだ人びと」 学部長 加登田恵子	講義Ⅰ「生活習慣と健康—生活習慣を改善すると、本当に健康になれるのか?—」 学部長 長坂祐二
14:40	講義Ⅱ「ファースト・ペンギンになってジャンプしよう!」 国際文化学科准教授 浅羽祐樹	講義Ⅱ「障がいって何?—WHOの考え方に学ぶ—」 社会福祉学科准教授 重岡修	講義Ⅱ「健康危機状況にある人への看護とは?」 看護学科講師 田中周平
14:50	講義Ⅲ「言葉遊びの古今東西」 文化創造学科准教授 木越俊介	講義Ⅲ「社会は障がい者をどのようにみているか—社会と障がい—」 社会福祉学科教授 中村文哉	講義Ⅲ「日本人の健康状況について—その集団指標とは?—」 栄養学科教授 日野精二
15:50	講義Ⅳ「文化をフィールドワークする」 国際文化学科教授 安野早己	実習「視覚障がい者のための自転車タンデムに乗ろう」 タンデムサークルの学生スタッフ	演習Ⅰ「心の健康—自分の心の様子を見てみよう—」 看護学科教授 中村仁志
10:00	8月 昼食・交流 (食堂・各教室)、「なんでも相談コーナー」 (桜翔館)、注：D15教室では食事をとることができません。		
11:00	講義Ⅴ「“創造”は想像から始まる—まずは身近な“そぞう”からはじめてみよう—」 文化創造学科教授 小南英昭	講義Ⅳ「視覚障がい者の立場から高校生の皆さんへのメッセージ」 非常勤講師 中村實枝	講義Ⅳ「身体活動と栄養—バランス良く食べて、しっかり運動しよう!—」 栄養学科講師 弘津公子
13:30	講義Ⅵ「教室の中のブンガク」 文化創造学科講師 加藤禎行	演習「障がい者福祉のいろいろな福祉社会へ向けて—ふりかえりとまとめ—」 社会福祉学科准教授 重岡修	演習Ⅱ「聞いてみたい!在学生の声」 看護学科講師 森本知佐子
14:30	閉講式	閉講式	閉講式
14:40			
15:40			
16:00			